

一部地区の可燃ごみ収集日・収集ルートが変わります

● 4月から、牛尾・船越・島・水戸・林地区にあるすべての可燃ごみステーションの収集日が「水・土曜日」に変わります。

- 【変更理由】
- ・「火・金曜日」ルートの戸数が多く、収集に時間がかかるため。
 - ・ごみの長時間放置による悪臭や景観への悪影響を軽減するため。

「火・金曜日」ルートのごみステーション数を減らし、**収集時間を短くする取り組み**ですので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

● 収集ルートの変更に伴い、「火・金曜日」、「水・土曜日」ルートの可燃ごみステーションの収集時間が**変わります**。

必ず、**朝8時まで**にごみを出し、収集後のごみ出しを行わないようお願いいたします。

● 新しい収集日ごとの地区は下記をご覧ください

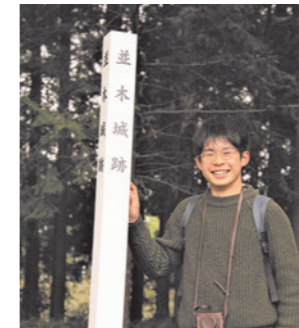
収集日	地区
月・木曜日	南中・北中・南借当・南並木・坂並・次浦・西古内・台作・井戸山・本三倉・谷三倉・川島・塙・宮本・坂・方田・南玉造・柏熊
火・金曜日	大原内・新町・堀ノ尻・仲町・本町・高根・飯新町・田町・高野前・居射・豊田町・切通・広沼・多古台・染井
水・土曜日	島・水戸・林・船越・牛尾 ・喜多・飯笹・五辻・つつじヶ丘・間倉・一鍬田・高津原・大穴・大門・桧木・出沼・十倉三・御料地

※色字の地区が収集日を変更する地区



お問合せ●生活環境課環境係 ☎ 76-5406

4月から



プロフィール

東京都在住の中学校2年生。
小学生の頃から歴史が好きで、各地のお城を巡ってスタンプ集めなどをしてきた。
多古町の山城に興味を持ち、休日に多古町を訪れるようになる。
部活動では野球部に所属し、投手を務めるなど文武両道。
多古町を訪れた際の一番の楽しみは、道の駅多古あじさい館で食事をする事。

このコーナーでは、多古町や町民の皆さんと関わる「関係人口」^(※)に注目し、町外にお住みの方で多古町と“縁”ができた方をご紹介します。(※)【関係人口】地域や地域の人々と多様に関わる人々のこと

永山さんは昨年、(公財)日本城郭協会が主催した「第21回お城の自由研究コンテスト中学生の部」で多古町の並木城(南並木)を題材にした論文を発表し、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞しました。今回は栄えある賞を受賞した若き歴史研究家のたまご、永山さんにお話を伺ってきました。

——多古町との出会い、その魅力

2020年に開催された「お城 EXPO2020」で多古町のブースを訪れたことが始まりです。ブースで丁寧に多古町の山城の説明をしていただき、「こんなお城(山城)があるんだ」と思い、多古町に興味を持ちました。

多古町は山城の数が多いだけでなく、しっかりと整備されていて当時の様子を想像しやすいところが魅力的で、他にも道の駅多古をはじめとした観光や食でも、さまざまな良さがあるところも素晴らしいと思います。



——永山さんの今後の目標や活動

将来は城郭の歴史を宗教、文化、民俗学など多面的に研究する大学教授や歴史研究者になりたいと考えています。歴史は未解明な部分も多いですが、自分で調べて、考察していくことがとても面白い分野です。

これからは多古町に根付く信仰に関しても調べてみたいと思っており、先日は南並木地区の御歩射(おびしゃ)にも参加させていただきました。今後も多古町に足を運び続けたいと思っていますので、よろしくお願いいたします。

農作業中の事故に注意！

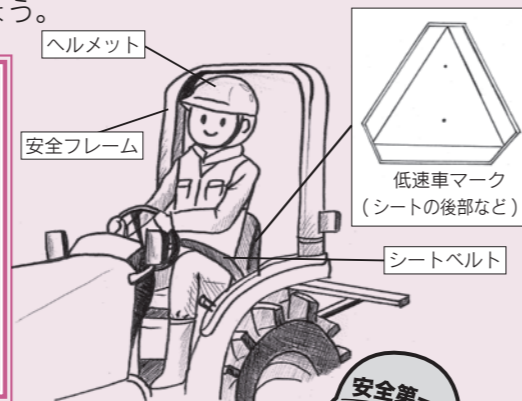
農業機械作業に伴う死亡事故が毎年全国で約300件発生しており、千葉県内でも尊い命が失われています。

農業機械作業で最も死亡事故が多いのが、**トラクターの転倒、転落事故**です。

農作業中の安全確保のため、今すぐ自分でできる有効な手段は、**作業員自身の注意**です。

慣れた作業であっても注意を怠らず、安全に作業を行いましょう。

- ①作業にあつた服装で作業しましょう。
- ②首にタオルを掛けていると、機械に巻き込まれる危険があるので注意しましょう。
- ③公道走行時は、必ず左右のブレーキを連結しましょう。
- ④走行中は、シートベルト、ヘルメットを着用しましょう。
- ⑤安全キャブや安全フレームを装着しましょう。
- ⑥低速車マークや反射板を設置しましょう。



より詳しい内容は、「農作業安全情報センター」のホームページをご覧ください。

インターネットで農業機械を安全に使う知識を学ぶことができるサイトです。



詳しくはこちら



お問合せ●農業委員会事務局 ☎ 76-5403

特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」にご注意！

栗山川を中心にナガエツルノゲイトウが生い茂り、水田への侵入も確認されています。ナガエツルノゲイトウは、南米原産の多年草で特定外来生物に指定されており、水陸両生で繁殖力、再生力、侵略性が強いことから「史上最悪の侵略的植物」とも呼ばれています。刈払いによって断片が農地に侵入する恐れがあるため、定着がみられる畦畔では、除草剤中心の管理をお願いします。



あじさい橋より撮影 (令和4年11月)

町内の畦畔や畑地で「ナガエツルノゲイトウ」を見かけたら、早急に下記お問合せ先までご連絡ください。

お問合せ●産業経済課農業振興係 ☎ 76-5404